

トピック 一 夏秋野菜（果菜類）の作付面積の動向 一

農林水産省が、4月26日に公表した平成23年産の春野菜、夏秋野菜等の作付面積等によると、春野菜の作付面積は前年比100%の3万7千ha、たまねぎは同1%増の2万4千haであったが、夏秋野菜は同1%減の6万8千haとなった。

夏秋の果菜類は、漬物需要の減少等により作付面積がゆるやかな減少傾向で推移してきたが、平成23年産は、夏秋きゅうりが同96%、夏秋なすが同97%、夏秋トマトが同97%と、これまでより減少率が大きくなっている。

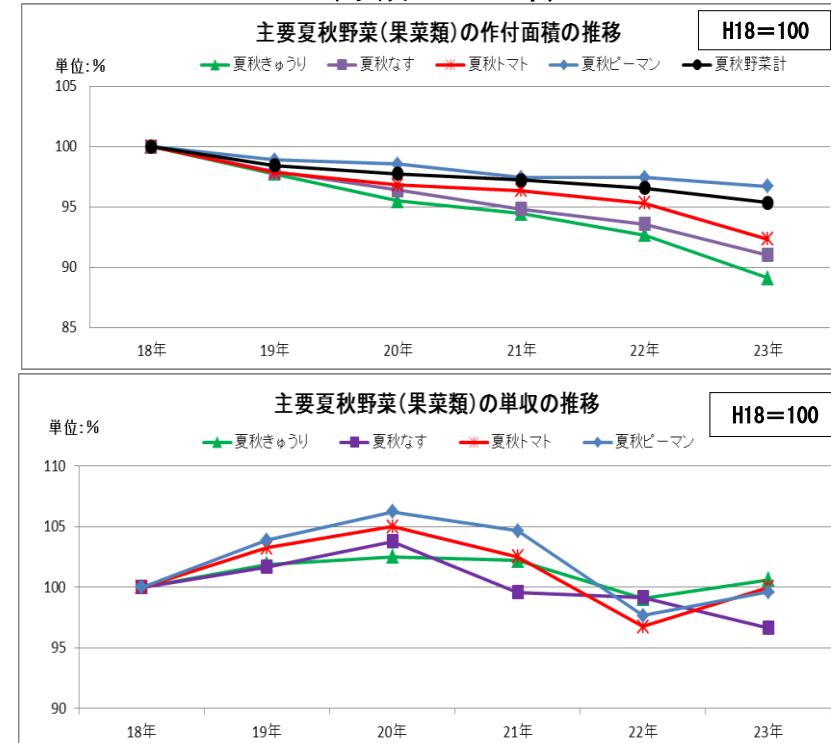
これは、これらの果菜類の主産地である東北地域が、東日本大震災等の影響を受け、大幅に作付面積を減少させたためである。とりわけ、夏秋きゅうりの主産地である福島県が、夏秋きゅうりで前年比84%と大幅な減少となり、夏秋なすと夏秋トマトについても大幅に面積を減少させている。

なお、夏秋きゅうりと夏秋トマトは、平成23年の単収が前年を上回ったため、需給への影響が緩和されている。

平成23年産春野菜、夏秋野菜等の作付面積

(単位:ha, %)

区分		23年作付面積	対前年比	平成18-22年の平均(対前年比)
春野菜計	全国	36,600	100	100
夏秋野菜計	全国	68,400	99	99
夏秋きゅうり	全国	8,650	96	98
	青森	185	100	96
	岩手	265	91	96
	宮城	345	86	99
	秋田	295	95	98
	山形	399	100	99
	福島	651	84	99
夏秋なす	全国	8,800	97	98
	青森	155	101	98
	岩手	143	98	99
	宮城	225	91	99
	秋田	431	97	96
	山形	524	99	99
	福島	316	80	99
夏秋トマト	全国	8,080	97	99
	青森	377	99	99
	岩手	222	98	98
	宮城	140	86	100
	秋田	267	94	98
	山形	224	101	100
	福島	312	73	98
夏秋ピーマン	全国	2,640	99	99
たまねぎ	全国	24,200	101	100

主要夏秋野菜（果菜類）の作付面積及び単収の推移
(平成18~23年)

1) 春野菜は、季節区分で冬春、春、春夏に区分されるもので、該当品目は、春だいこん、春にんじん、春はくさい、春キャベツ、春レタス、春ねぎ、冬春きゅうり、冬春なす、冬春トマト、冬春ピーマンである。

2) 夏秋野菜は、季節区分で夏、夏秋、秋に区分されるもので、該当品目は、夏だいこん、秋にんじん、夏はくさい、夏秋キャベツ、夏秋レタス、夏ねぎ、夏秋きゅうり、夏秋なす、夏秋トマト、夏秋ピーマンである。

資料：農林水産省「平成23年産春野菜、夏秋野菜等の作付面積、収穫量及び出荷量」等

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページのトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。